

令和3年度 第1回山口県道路交通渋滞対策部会  
議事概要

1. 日時 令和3年 8月27日(金) 14:00~14:40

2. 方法 Web会議

3. 出席者

[委員] ※敬称略

高口 敏弘	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長
北城 崇史	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
山本 孝行	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
山口 克己	国土交通省中国地方整備局道路部	交通対策課長
松本 幸司	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	所長(部会長)
福島 広志	国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所	所長
栗原 高巳	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長
鳶 眞	国土交通省中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官
伊藤 努	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長
永野 善太郎	山口県警察本部交通規制課	交通管制官【代理】
藤岡 健智	山口県土木建築部	道路整備課長【代理】
仙石 克洋	山口県土木建築部	道路建設課長(副部会長)
野嶋 秀範	山口県土木建築部	都市計画課長
毛利光 伸二	山口県トラック協会	専務理事
藤原 德行	山口県バス協会	専務理事
朽谷 朋弘	山口県タクシー協会	専務理事

4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 渋滞対策の効果検証
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策
- (5) 観光地渋滞対策
- (6) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討

5. 議事概要

- (1) これまでの検討経緯を説明。
- (2) 最新のETC2.0プローブデータ(令和2年4月から令和3年3月データ)を用い、主要渋滞箇所の渋滞状況変化について報告。
- (3) これまでに対策を行った「国道188号岩国駅前交差点改良事業」、「国道9号唐戸交差点ピンポイント渋滞対策」、「国道2号馬屋線交差点ピンポイント対策」について、効果検証した結果を報告。
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策として「国道2号錦見交差点」のコンパクト化、「国道2号下岡交差点」の信号現示の見直しの予定を説明。
- (5) 観光地渋滞対策として、令和3年度のGW、7月の4連休、8月のお盆期間に行った対策の効果及び次回以降の取組を報告。
- (6) 山口市内を対象とした交通需要マネジメント(TDM)の検討状況を説明。データ分析の内容およびTDMのターゲットとする時間帯について違和感がないことを確認。

〈委員からのご意見〉

- ・今年度実施予定の下岡交差点の渋滞対策として、国道2号上り方向の先詰まりの影響となっている厚東駅入口交差点の信号現示を調整するとのことであるが、その先（東側）に位置する瓜生野交差点を先頭に渋滞が発生しているとラジオなどでよく聞く。瓜生野交差点の渋滞が悪化しないことに留意頂くとともに、厚東駅入口交差点から瓜生野交差点までの区間について、本日の資料同様に速度状況を整理頂きたい。  
⇒了解した。
- ・本日説明のあった3箇所（岩国駅前交差点、唐戸交差点、馬屋線交差点）では、旅行速度低下時間数が主要渋滞箇所の選定基準を下回っているか。  
⇒岩国駅前交差点、馬屋線交差点は、選定基準を下回っていない。唐戸交差点は、選定基準を下回っているものの、コロナ禍を踏まえ、引き続き注視していきたいと考えている。
- ・交通需要マネジメントを行うにあたり、自動車依存の高い山口県民の意識を能動的に動かすには、それなりの「組織」をつくる必要があると感じる。これについてどのように考えているか。  
⇒「組織」をつくるかどうかについては、まずは渋滞の緩和に向けて取り得る対策、誰が主体的に取り組めるか等を洗い出すことが先で、その上で「組織」の必要性を検討するべきと考えている。